



# 六尾だより

題字・O氏  
グループホーム  
六尾の郷

第18号

発行

社会福祉法人長寿会  
泉南市信達六尾547  
TEL072-483-7260  
www.chojukai.or.jp

## 子供たちの笑顔で若返り!



**特集**「六尾の郷のお年寄りが出張!!」  
毎週火曜日砂川地区子育てサロ

今年の4月より、世代間交流として、砂川地区子育てサロン「すなづきーず」に、特養・グループホームの入所者の方と子供たちにはり3歳までの子供さんと、そのお母さんが20名、30名おられ、育児相談や交流をしています。子供たちは、お母さんの背中に隠れ人見知りをする子もいれば、近寄りちよんちんと入所者の方の膝の上に座る子など、入所者の方は、子供たちを見ると、「かわいいなあ、こつちおいで」と表情が変わり満面の笑顔を見せられます。また、3ヶ月の赤ちゃんと100歳の入所者の方との、年の差100歳の交流には、お母さんもボランティアさんもビックリ!!毎週火曜日の「出張」は皆さん、とても楽しみにされています。

地域のボランティアさんのご協力で実現出来た「施設から地域への第一歩」ほんのひとときですが「六尾の郷」は地域との交流を大切にしています。

特養

# お誕生日おめでとう



特養では、入居者一人ひとりのお誕生日をお祝いする「個別誕生日会」を行っています。しかし、誕生日をもっと盛大にお祝いしたいという思いから個別誕生日会を大切にしつつ、その月のお誕生日者の合同誕生日会を平成20年5月より開催することになりました。毎月最終日曜日に地域交流スペースにて、入居者と誕生日を迎えた家族の方々を招きお祝いをしています。今回は、7月の合同誕生日会の様子を紹介します。

★合同誕生日会の日はお誕生日者の好物を取り入れたメニューを厨房の協力によりお出ししています。今日は特製の「六尾御膳」です。

★午後より皆さんを地域交流スペースへご案内！今日は誕生日者の御家族総勢16名を含む100名以上の方々が集合。いよいよ7月のお誕生日者が御家族職員に付き添われ、皆さんの温かい拍手に迎えられる入場！



六尾御膳



**T さん(94歳)**  
大正3年7月10日生まれ



**O さん(87歳)**  
大正10年7月13日生まれ



**M さん(100歳)**  
明治41年7月25日生まれ



**H さん(88歳)**  
大正9年7月8日生まれ

特養には、Mさん以外に100歳の方が1名、なんと最高年齢106歳の方がいます。



**N さん(92歳)**  
大正5年7月16日生まれ



家族様より一言



職員インタビューに照れる O さん



感激のあまり涙くも姿!!



★「特養誕生日会」開催後、デイサービス利用者より「私も祝って欲しい」との言から現在では特養デイが合同で誕生日会を開催しています。またまた始まったばかりで反省点などもあり試行錯誤しながら行っています。これからも利用者の思いに出に残るような誕生日会を行ってまいります。

★「特養誕生日会」開催後、デイサービス利用者より「私も祝って欲しい」との言から現在では特養デイが合同で誕生日会を開催しています。またまた始まったばかりで反省点などもあり試行錯誤しながら行っています。これからも利用者の思いに出に残るような誕生日会を行ってまいります。

盛大な誕生日に出発させて頂きありがとうございました。利用者の元気でこの生活を見守りさせて頂き、この環境で、介護して下さるスタッフのご苦労には感謝の気持ちで一杯です。母も100歳を迎え、大勢の人に囲まれ、手作りの花とラッピングを作ってもらったことが嬉しかったです。花道を通り、路上に上がった時、皆様から大きな拍手を頂いた時は、驚きと嬉しさを身につけました。この誕生日会には、母も私達家族にとっても生かされたこと出来たと思っております。

★「特養誕生日会」開催後、デイサービス利用者より「私も祝って欲しい」との言から現在では特養デイが合同で誕生日会を開催しています。またまた始まったばかりで反省点などもあり試行錯誤しながら行っています。これからも利用者の思いに出に残るような誕生日会を行ってまいります。



7人の合同お誕生日会に11名の御家族がお祝いにかけつけてくれました。

ケアハウス  
2人で歩む道



S さん



K さん



( S さん99歳・ K さん94歳)は  
今でも仲良くケアハウスで  
過ごされています。  
そこで当時のことを  
思い出してもらい、  
お二人の言葉を交えて  
タイムスリップ



Q、お二人の出会いには？

S さんは香川県で生まれその後、京都へ移り、K さんは長野県で生まれる。こんな2人が出会ったのは、牧師さんを通じて、K さんが京都にすく興味を持っていたことから、S さんを紹介され、お互いの写真を交換し知り合うこと…。そして知り合ってから結婚。

K 今みたいな恋愛期間がうらやましいです。

Q、当時の生活は？

農林省→米穀店と長年勤めたS さんは、遠い所を自転車で毎日1時間かけて通勤。帰宅時間は、5分と遅くなることにならないうらやま

見もせず真つすく家に帰っては当時の趣味を楽しんでいたとのこと。  
S 明治生まれの人は、仕事一筋でした。



S さんの母は、娘を若くして亡くされ、K さんのことを娘のように可愛がってくれたそう。どこへ行くにも一緒だったとのこと。  
K そりゃいい人でしたよ



そして、S さんが定年を迎える  
と旅行の本を片手に北は青森、南は  
鹿児島に2人で旅行に。  
S 旅行に山に花つくり。楽しか  
つたなあく。



Q、お互いを二言で言つと…

S 「怒らせたら恐い人」  
普段は穏やかですが、怒らせるとなぐ。  
K 「平凡な人」  
社交家でもないし硬っ苦しい人。

Q、長生きの秘訣は？

S 病院・薬が昔っから好きでした。(冗談交えて)

K 義母から、味付けは薄味にする  
と長生きすると教わったからかなあ。

Q、今の楽しみは？

S 毎日のおいしいご飯を食べるのが楽しみです。  
K 聖書を読むのが楽しみです。

Q、これから…

時よりひ孫から「ジーシ・バーバ」と電話してくれるのがうれしくて、こちらに来た時には、部屋中を走り回って遊かのを見るのが二人の楽しみです。



当時のことを思い出しながら、お答えになつて頂いたのですが、その頃を思い出すかのように二人が時より見つめ合う姿は、とても微笑ましい光景でした。

グループホーム  
六尾の郷

# 祝

## 百歳を迎えて

6月18日 T さんの100歳の  
お誕生日。

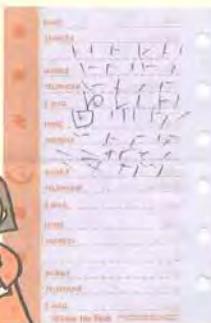
グループホームでの初めての100歳のお祝いで、何か特別にと考えましたが、いつも過ごしている場所で、家族の方を交えて、お祝いでできるのが良いと考え、グループホームでお祝いしました。

前日より熱が出て、スタッフも心配しましたが、来苑した家族の顔を見ると、笑顔があふれ、お茶をすずめ、もてなすキミさん。  
自然に、お祝いムードになりました。



お誕生日会、家族でハイチース

入居者一人一人からのお祝いの言葉、4歳のひ孫さんもお祝いに来て下さりおはあちゃんにと手紙を書いておられ、キミさんも嬉しそうに、懐になおされていました。



「おめでとつ」と書いています。



アメリカに住んでいる息子さんも来日され、お誕生日会の最後に入居者と、スタッフに感謝のお言葉を下さり、その心の中もった言葉に、スタッフもプレゼントをいただきました。



音の家族写真

## 入居者の方に聞いてみました

のこみ

日々、さまざまな行事やクラブ等、良いものができるようにと、各担当者が企画を練っていますが、入居者の方々が喜んでいただけるとのことと毎週不安になります。そこで今年度上半期でよかったですものをアンケート調査を実施してみました。

### 第1位 母の日行事

なんと8名の方が母の日と言われました。理由は「家族の方が来苑しうれしかったというのが大半です。この日は朝から面会の方が多く各フロアが満員状態。いずみから皆さんへ、メッセージとカーネーションがプレゼントされました。男性の方へもプレゼントされたのですが苦笑い。



メッセージカードを渡している

又、昼食には旬の豆ごはんや天から行事食で大変喜んでいただけました。  
つぎまして…

### 第2位 お花見

4月初旬、桜が満開の時期に、近くの大きな公園へ行きました。歩き組と車組に分かれ、車組は「お先に」と笑顔。歩き組は両側に桜が咲いた細道を楽しみながらゆつくりと到着。テーブル、イスを並べ、楽しい時間をすごしました。



最高の記念写真です

「また来年もこのメンバーでこれらいいねえ」と一人の方が言われ、何かうれしい気持ちになりました。

これらを聞き「間違っていないか」と確認!!これからもスタッフ「同良いものをつくっていきます。」

(ちなみ)

- 3位…七夕
  - 4位…誕生日会
  - 5位…父の日
- でした。

# デイ六尾での 機能訓練



デイサービスセンター六尾の郷では、午後から休憩タイムをはさ  
んで機能訓練を行っています。  
利用者同士やスタッフとのコミュニケーションを大切に、自宅でも  
気軽にでき、怪我や病気の予防にもなり、より安全で無理なく、楽し  
く元気を維持する機能訓練に取り組んでいます。  
さてさて、機能訓練の開始です。「さあ、今日も頑張るぞあー」と  
皆さん、気合い十分です。

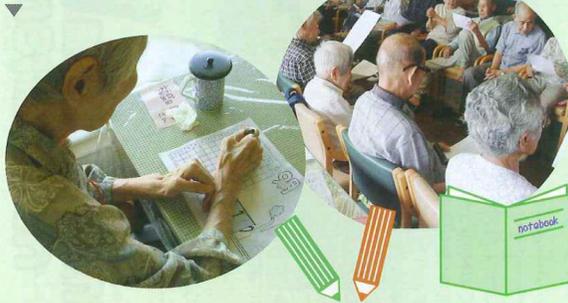


・まずは足の体操からスタート。  
「今日はここまで歩きますか〜?」  
と尋ねると、夏の暑い時には「ハワ  
イに泳ぎに行こう」やオリンピック  
最中には「アテネまでスポーツ観戦  
に行こう」と笑いが飛び交うなか、  
足踏み運動です。



・次は、手や指の体操です。  
「1・2・3・4・5」とリズムに  
乗り、同時に指で数字を表します。  
始めのうちは「難しいな」と、悪戦  
苦闘ですが…日々行い回数をこな  
していつの間にか、慣れた手さばきで  
す。

機能訓練以外でも脳トレに取り組まれています。



他にも、肩こり、便秘解消、冷え症の  
方に合ったいろいろな体操をとり入  
れ、利用者さんからは、「家でも簡  
単にできるし、帰ってしよう」との  
声が聞かれます。

**脳トレの時間**

身体を動かした後は、脳の体操。  
漢字や数字を使った問題等です。黒  
板に向けられる利用者さんの真剣  
な眼差し。  
問題を書く途中に答えが飛びかう  
場面も。

こちらは、ご自宅にあるタオルを使った体操です。



これからも、利用者の皆様が、元氣  
な日常生活を過ごすことができる  
ように、体力や身体機能の維持・回  
復・又は更なる向上へ向けてお手伝  
いさせていただきます。



▲ 熱唱中のNさん

音楽をトレーニングに  
組み合わせたり時に  
はカラオケをしたり。

# 「主人の介護にあたり」介護手記

T

まさか定年後の生活をこのような形で迎えることになろうとは……

主人がこの病に侵されたのは1ヶ月後は定年という時でした。仕事中に突然眩暈に襲われ歩くことも出来ず、同僚に病院まで送ってもらいそのまま入院。6ヶ月後に退院したものの、それから主人に少しずつ変化が現れてきました。主人は耳に持病があり、幼少の頃2回、結婚してから3回手術をしています。その度に眩暈等に苦しんできましたので、私としては今までは普通に日にち業位の軽い気持ちで持たせて、日中町内を歩き回り、暮さの中や真冬の寒い中、雨の日以外は水を入れたバケツを持って、夕食後私には黙って大阪市の姉弟の所に電車で遊びに行き、夕食時間には帰ってくるのですが、靴の中で汚物だらけで、何度も服や靴を処分しました。時には泣いて助けてもらい、お茶、ジュース等、私の知らないところとなたか御世話になっていた様で、後に知りました。

この時点で病名は「大脳皮質基底核変性症」と言われていましたが、はっきり病名を下すには大学病院での精密検査が必要で、和歌山医大に入院しました。しかし、色々問題を起こし予定より3日も早く退院することになりました。

結果は「前頭葉右側頭葉型痴呆症」ビタ病でした。この病気の特徴は、記憶力をはじめとする知的活動は比較的保たれますが、異常行動、言語障害、人格変化がみられ、例えは

- 1 常同運動
- 2 時間割り行動
- 3 徐々に動けなくなる
- 4 同じ言葉を繰り返す
- 5 暴言、暴力をふるう

等です。主人の場合は暴言、暴力はないのですが、一日中独言が多く、当初は小さな声でしたが、最近では大声を張り上げ、皆様に不快な思いをさせてしまい申し訳なく思っています。

現役時代はデニスに明け暮れ、国内外旅行、他にも色々と遊び回っていました。「お前の代わりはいくらでもいる。いっしょに行ってもいいぞ。」などと言われています。そんななか今では「妻のおかげでやと生きておられる」と、女房女房と言っています。想像できないかなどです。私自身の人生設計もすっかり狂ってしまいました。毎日の汚物処理にシヤワーや着替え、主人人置いで外出もできず、昔の「何をどうかんだ目にも」と逃げ出したくなることも多々あり、今はこの人は痴呆だからと自分に言い聞かせつつも、こんな生活に私も心穏やかではなく、時をステレオタイプに感じてしまうことも……。発病当初は2、3時間程度なら主人の奇行も目立たないので、周囲の人には信じてもらえず、情けない思いもしました。

現在主人は週3回のデイサービスと月1回のショートステイを、六尾の郷「デイサービスつばさ」でお世話になっています。職員の皆様はどんな時でも笑顔とやさし接して下さい。いかに仕事とはいえず、他人のために頑張っておられる姿を拝見して、私自身勇気づけられ、又見習わなければと思っています。主人も皆様の心遣いが嬉しいですよ。デイサービスを楽しんでいます。「こんなことをまでして頂いて」と思うことも度々、本当に感謝しています。

また、地域の方々、友人等がさりげなく手を差し伸べてくれます。色々とお助けを頂き、私は現実としつかり向き合いながら頑張るしかありません。いつかわずかでも恩返しが出来ればと思っています。

どうぞこれからも宜しくお願い致します。

## 第三回

# 「お仕事をしなさい」

# 思い出せるイベント

「お仕事をしなさい」



デイサービスセンターつばさ

つばさで勤務し始めて、もうすぐ二年が経とうとしています。この一年は、本当にあったという間違ったような気がしています。来ていただいた利用者の方々に、笑顔で過ごしていただくかを日々模索していますが、未だに難しいのがレクリエーションの経験はほとんどなく、初めて担当する前日は夜遅くまで何をするか、どう話を進めるか、等緊張で眠れませんでした。でも終わった後に、拍手と「面白かったよ」という言葉をいただいた時の達成感や感動は今でも忘れられません。笑しような笑顔を見せてくれた時はとても嬉しく、また大変やりがいを感じている今日この頃です。「つばさへ来て良かった」と、笑顔を見せてくれる方のために、これからも頑張りたいと思います。



デイサービスセンターつばさ

総合福祉センター内につばさが開設し、はや5年が経ちました。臨床から福祉の現場に移り最初は戸惑うことばかりでしたが、法人の理念でもある「その人がその人らしく暮らせる」ことを念頭に置き、多くの利用者さんと関わらせていただきました。

日々の業務におられるなか、利用者さんやその御家族の方からもさまざまな相談を受けます。看護師として信頼されているという自負と共に、大きな責任感を感じずにはいられません。しかし相談の後安心したと、言ってお安堵された表情や笑顔が返ってきた時とても仕事にやりがいを感じます。

また、四季折々の行事で利用者さんと楽しもうとさせていたとき、私にとって日々の関わりの中の1つが大切な思い出になっています。これからもつばさで思い出がたくさん増えていけるよう関わりを大切にしていきたいと思えます。

# 包括支援センターメンバー紹介

平成20年に入り包括職員が大きく入れ替わりました!!そこで、これを機に改めて自己紹介、意気込みを語っていただきます!!これまでの包括が築いてきたものを大切にしながら、新メンバー皆で力を合わせて頑張っていきますので、どうぞよろしくお願い致します!!この4人を見かけたらお気軽に声をかけて下さいね。

F

いきなりですが、この写真写りの悪さはどうでしょうかね~(写真写りのせいですが?)なにが太ってしかもイカツク見えませんか?でも、決してそんなことはなく、清く、明るく、美しく、正義の心を常に持ち、夢と希望をいつまでも、明日にはばたく... Fです。え?年齢ですか?見たままの25歳です!(信じてくれた方ありがとうございます)後4年で介護保険2号保険者になることを想うと、怖さを感じますが、...一言えは、最近、物忘れがひどいんです。おまけに目もかすんで、すまね~あっ!いけね!意気込みを語るん、でしたよね。「ガタガタですけど、いつまでもフレッシュな気持ちで一杯頑張ります!」今後とも、どうぞ宜しくお願いします。



K

20年前は、ちょうど次女が産まれた年で、今年その娘も成人を迎えました。  
ところで、私の事を知っている皆さん!  
私が色黒なのは、地黒ではありません。これは訪問焼けなんです。ほんとは色白なんです。  
でも、本当はデスクワークより、教室に参加したり訪問でうかがっている時の方が楽しいです。これからも元氣いっぱい頑張ります。宜しくお願い致します。



Y

4月から包括で勤務している Y です。名前の通り、国籍は韓国なんですが、生まれも育ちも大阪で、大阪弁しかしゃべれません。僕自身、泉南市民でもあるので、泉南にはとても愛着があります。愛着があるからこそ、泉南市が、安心して暮らせることができる街になればと思っています。包括の4人の力を合わせて頑張りますので、どうぞ宜しくお願いします。



S

4月から包括で勤務しています。  
20年前は看護師のタマゴでした。と言うと年齢がばれてしまいますが、気持ちはフレッシュなままです。  
人との出会いが多いこの仕事が好きです。出会いを大切にこれからも頑張っていきたいと思えます。よろしくお願致します。



## 実態把握調査って何??

実態把握調査で包括メンバーは大忙し!!上の絵の様に泉南市担当区域を走り回っています。実態把握調査とは、泉南市より依頼された事業です。75歳以上の1人暮らしの高齢者の方、また、75歳以上の夫婦世帯の方で、介護保険サービスを利用されていない方に対してお手紙でお知らせした上で、ご自宅へ訪問させていただきます。生活の状況等を聞かせていただきます。もし、何か困っていることがあれば必要に応じて福祉や介護の情報を提供させていただきます。いただいた情報は、今後の福祉や介護の充実に向けての資料にさせていただきます。もちろん秘密は厳守致しますので、ご安心下さい。これまでに訪問した皆様、ご協力ありがとうございました。また、これまで実態把握調査を受けたことがないという皆様につきましては、これから先、私たちが訪問させていただくかもしれませんが、決して押し売りなんかではないのでどうぞご協力お願い致します!!

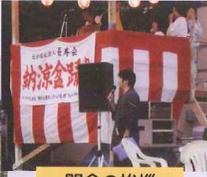


## メンバーの約20年前を大公開!!



夏の終わり、秋の訪れを感じるひととき…  
会場の風景にズームイン

受付でご来場ご案内



開会の挨拶  
緊張の面持ち

8月16日、毎年恒例の「納涼盆踊り大会」を開催しました。  
当日、朝からくもり空で開始直前に雨が…。年に一度の大イベント…。この日を待ちわびた方がたくさんおられ、職員も当日の設営に全力を尽くし、この日に込めた熱い想いを空に向け…。  
すると雨模様が一転、空は明るく、雨もあがり音頭とりの方の練習にもより「層身が入りいよいよスタート。足元が悪いなか、200名弱の方がご来場いただけ、盛大に行われました。

恒例  
納涼盆踊り大会  
笑顔のうち幕を閉じる

地域の方そして利用者様ご家族様との楽しいひとときを胸に、これからも、皆様に貢献できることを模索し展開していければと思っております。



各部署踊りに熱い視線を送っています。



カレーにおいて、  
フルーツにポテト  
かき水にとろろ天、飲み物



生歌と共にスタート



子供さんに向けて  
千本引き人形つり



### 掲 示 板

広報紙に関する感想・その他何でも結構です！  
皆様の生の声をお寄せ下さい！

リアルタイムな情報はこちら↓



長寿会の

もよろしく!

<http://blog.chojukai.net/>

〒590-0515 泉南市信達六尾547番地  
TEL (072)-483-7260 FAX (072)-483-7261